Press Information

Corporate

フィジカル AI 向け高性能磁気センサ事業拡大のための戦略投資について

– フィジカル AI 時代を見据えた高性能磁気センサ事業の戦略投資
– TDK が注力する AI エコシステム市場の成長に貢献

2026 年 10 月 30 日

TDK 株式会社（社長：齋藤　昇）は、このほど、主にフィジカル AI 向けに省スペースかつ低消費電力、また、次世代のパワー半導体に対応し高速応答などの高性能を実現する、新しい磁気センサ（TMR センサ）の開発強化と本格的な量産体制を構築するため、戦略的な投資を行うことを決定しました。今回の投資総額は、当社の信濃川テクノ工場（新潟県小千谷市）にて、約 1,000 億円を予定しております。

近年、AI 技術の普及は、ロボティクスやスマートインフラ、自動化システムなどの「フィジカル AI」領域へと急速に拡大しています。これにより、現実世界のデータを高精度かつリアルタイムに取得するセンサの重要性は一層高まっており、センサを含む AI エコシステム市場は中長期的に拡大していくことが見込まれています。
このような背景の中、当社は本年 6 月に新潟県小千谷市に「TDK 信濃川テクノ工場」を新設しました。今回決定した大型の戦略投資により、AI インフラ社会における、機器の省エネルギー化と高性能化を実現する、独自のパッケージング技術と高性能 TMR センサを組み合わせた高付加価値製品を世界市場へ展開します。これにより、TDK が強化している AI エコシステム市場のさらなる拡大につながるとともに、国内の関連産業や地元経済の活性化にも貢献してまいります。

用語集
TMR：トンネル磁気抵抗効果

（ご参考）

TDK 信濃川テクノ工場の概要

１．工場名	TDK 信濃川テクノ工場
２．所在地	新潟県小千谷市大字千谷字小嶋甲 3000 番地
３．敷地面積（建屋面積）	173,335m^2 (132,075m^2)
４．主な事業内容	磁気センサ（TMR センサ）製品の生産
５．稼働開始時期（予定）	2029 年中

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、エレクトロニクス業界のグローバルテクノロジー企業であり、イノベーションリーダーを目指しています。 ブランドアイデンティティの新しいタグライン「In Everything, Better」のもと、TDK は生活、産業、社会のあらゆる側面でより良い未来の実現を目指しています。90 年にわたり、「創造によって文化、産業に貢献する」という社是に基づき、TDK は電子機器の中から世界の発展に貢献してきました。先駆的なフェライトや時代を象徴するカセットテープにはじまり、最先端の受動部品、センサ、バッテリーによってデジタル時代でつながる世界を支え、サステナブルな未来への道を切り拓いています。TDK のベンチャースピリットによって融合することにより、世界中の情熱的なチームメンバーが、私たち自身、お客様、パートナー、そして世界のためにより良いものを追求しています。TDK の最先端技術は、産業用途、エネルギーシステム、電気自動車からスマートフォンやゲーム機まで、あらゆるものに活用され、現代生活の中心にあります。

TDK の多様で最先端の製品ポートフォリオには、受動部品、センサおよびセンサシステム、電源、リチウムイオン電池や全固体電池、磁気ヘッド、AI およびソフトウェアソリューションなどがあり、その多くが市場をリードしています。製品ブランドとしては、TDK、InvenSense、Micronas、Tronics、TDK-Lambda、TDK SensEI、ATL があります。現在、TDK は AI エコシステムを重要な市場と位置付け、自動車、ICT、産業機器分野におけるグローバルネットワークを活用し、幅広い分野で事業を拡大しています。2026 年 3 月期の売上は約 2 兆 5,000 億円、従業員総数は全世界で約 107,000 人です。

本文および関連する画像は https://www.tdk.com/ja/news_center/press/20261030_01.html からダウンロードできます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
大須賀	TDK 株式会社　広報グループ	+81 3 6778-1055	TDK.PR@tdk.com